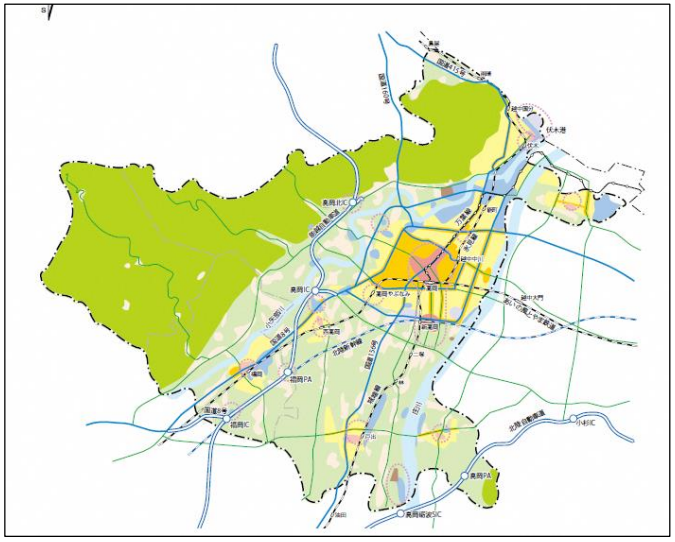
高岡市における脱炭素先行地域の取組と課題について

脱炭素×資源循環＝地域経済活性化を目指して

富山県　高岡市
生活環境文化部　脱炭素推進課

高岡市の概要

- 富山県西部に位置する県内第２の都市
- 交通ﾈｯﾄﾜｰｸ　：　東西を結ぶ北陸新幹線と北陸自動車道
  南北を結ぶ東海北陸自動車道と能越自動車道
- 世帯数　　：　71,178世帯　　※令和７年６月末現在
- 人口　　：　161,831人　　※令和７年６月末現在
- 産業　　：　高岡銅器、高岡漆器といった伝統産業をはじめ、
  アルミ、化学工業、パルプ、金属等の製造業が盛ん



脱炭素先行地域計画提案書　概要

高岡市：中心市街地の脱炭素×資源循環で実現する環境と経済の両立
「脱炭素未来都市高岡の挑戦」

【施策間連携モデル】
中心市街地活性化×脱炭素
【資源循環モデル】

環境省

脱炭素先行地域の対象：**中心市街地エリア、福岡金属工業団地**
主なエネルギー需要家：戸建・集合住宅306戸、飲食店・商業施設等375施設、民間施設等34施設
共同提案者：高岡市カーボンニュートラル推進協議会※

※ハリタ金属株式会社、三協立山株式会社・三協マテリアル社、サニーライフホールディングス株式会社、アルハイテック株式会社、北陸電力株式会社、株式会社タカギセイコー、株式会社能作、塩谷建設株式会社、株式会社安田紙業、イセ株式会社、末広製発株式会社、たかまち鑑定法人株式会社、高岡交通株式会社、トナミホールディングス株式会社、高岡ガス株式会社、定塚校下連合自治会、株式会社北陸銀行、株式会社富山銀行、株式会社富山第一銀行、一般財団法人ローカルファースト財団

取組の全体像

市の基幹事業であるアルミ産業の企業を巻き込み、中心市街地に太陽光発電設備の導入を進めるとともに、不純物を含む廃アルミから再生地金の利用を可能にする技術の研究開発と連携して、エリア内外で発生する**使用済太陽光発電設備**を**再生アルミ資材**にマテリアルリサイクルし、地域経済循環を確立して**サーキュラーエコノミー**モデルを構築。**中心市街地活性化基本計画**の取組と「地方創生推進交付金」(内閣府)を活用することで、商業施設等を中心に市街地の求心力を更に高め、交流人口を拡大し脱炭素との相乗効果を生み出し、**にぎわい創出**を目指す。

1．民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

① 住宅・民間施設等にオンサイトPPAにより太陽光発電(4,053kW)・蓄電池を導入
② 郊外にある**埋立処分場等の遊休地を活用**した大規模太陽光発電(4,250kW)と、市内の卒FIT電源(5,100kW)を、PPA事業者を通じてエリア内に供給
③ **中心市街地活性化基本計画**の中心に位置づけられている大型商業施設及び宿泊施設の**省エネ改修・ZEB化**を推進
④ リサイクルが困難な**廃アルミを原料**とした**水素火力発電**・燃料電池(91kW)を導入

高岡市中心市街地

福岡金属工業団地

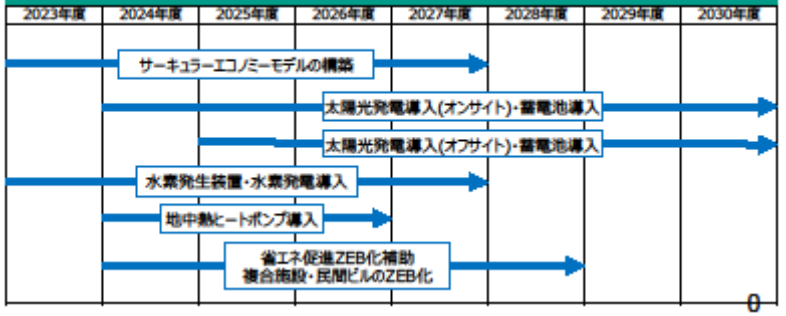
2．民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

① エリア内外で発生する**使用済太陽光発電設備**を福岡金属工業団地で再生アルミ資材としてマテリアルリサイクルすることで、**資源循環を推進し、省エネ改修や創エネ設備**の設置に活用
② エリア内の集客力のある公共・商業施設を核に、中心市街地で**アルミ回収施設**を整備する等、廃アルミを効率よく安価に調達
③ 地域の特徴である豊富な伏流水を有した既設の井戸を活用して駅前エリアのオフィスビルに**地中熱ヒートポンプ**（105kW)を導入

3．取組により期待される主な効果

① 不純物を含む廃アルミから再生地金の利用を可能にする技術の研究開発(国立大学法人富山大学)と連携し、福岡金属工業団地や市内立地企業を巻き込んだ廃アルミの資源循環への取組み拡大による**地域循環経済**の構築と産業の活性化と**サーキュラーエコノミー**モデルを構築
② 「地方創生推進交付金」(内閣府)を活用し、啓発拠点の商業施設等を中心に脱炭素の取組とともに集中投資を行い、市街地の求心力を高めて交流人口を拡大して、市民の行動変容につなげることで、**にぎわい創出**を図る

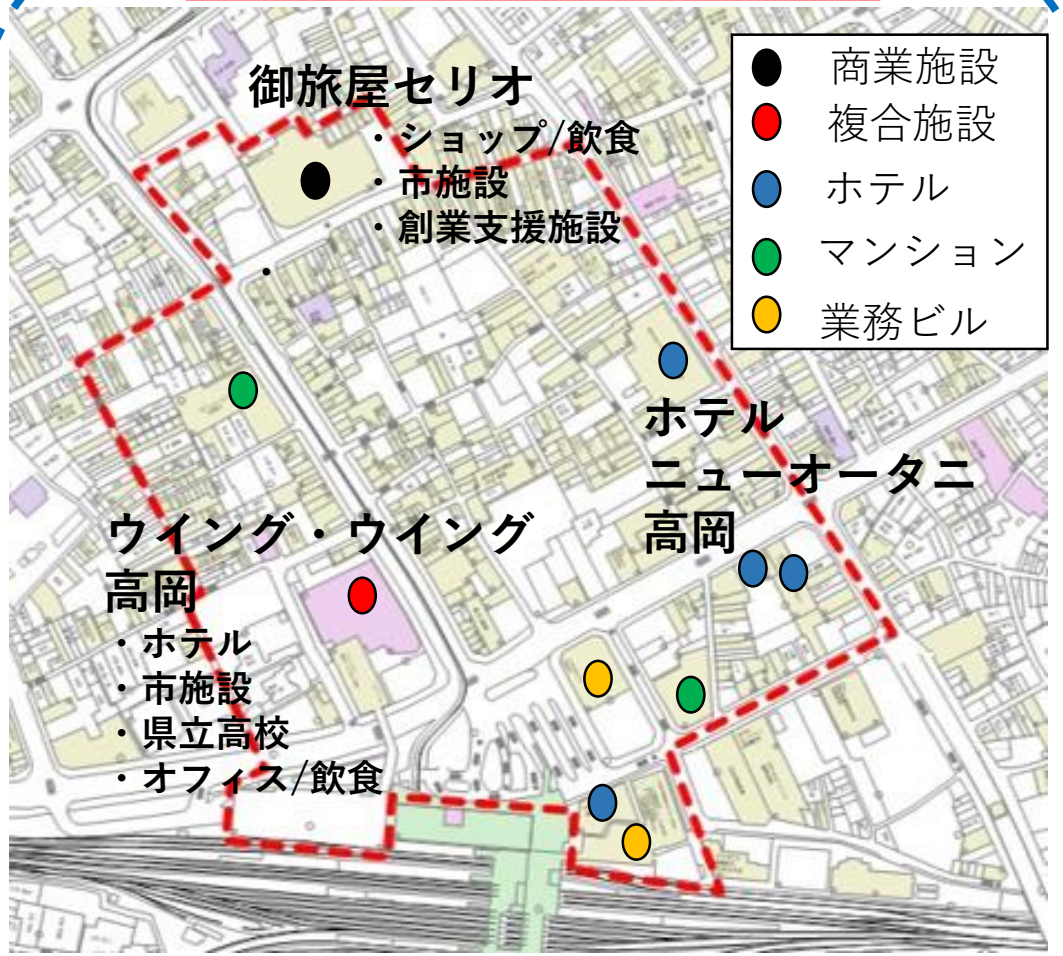
4．主な取組のスケジュール



参照ＵＲＬ：https://www.city.takaoka.toyama.jp/material/files/group/25/keikaku-gaiyo-takaoka.pdf

本市が定める先行地域計画事業取組エリア

今回課題を解決したいエリア



高岡市中心市街地

福岡金属工業団地

本市計画の進捗に関する課題

国の支援を活用し、**中心市街地エリア**において**太陽光発電設備**の**普及**を行っていきたいところであるが…

① 古い家屋が多く、耐荷重の関係等により ＰＰＡ等による設備設置が困難

② 陸屋根ビルも多く、屋根上には室外機等の既存設備もあり、設備設置が困難

課題解決に向けた手法や本市が目指すもの

①古い家屋が多く、耐荷重の関係等によりＰＰＡ等による設備設置が困難

②陸屋根ビルも多く、屋根上には室外機等の既存設備もあり、設備設置が困難

・**壁面**への太陽光発電設備の設置

・**フレキシブル太陽光**発電設備の屋根への設置

・**ペロブスカイト太陽電池**など**新たな技術等を活用**した屋根や屋上等への太陽光発電設備の設置

目指すもの

・社会実装された壁面用やフレキシブル太陽光発電設備に関する事業者様と本市先行地域共同提案者である電力事業者とが連携し、ＰＰＡ事業等による民間での太陽光発電設備の普及を目指す

・新たな技術を活用した太陽光発電設備設置による再エネ電力量の確保を目指す

太陽光発電設備以外の主な取り組み一覧と今後のスケジュール

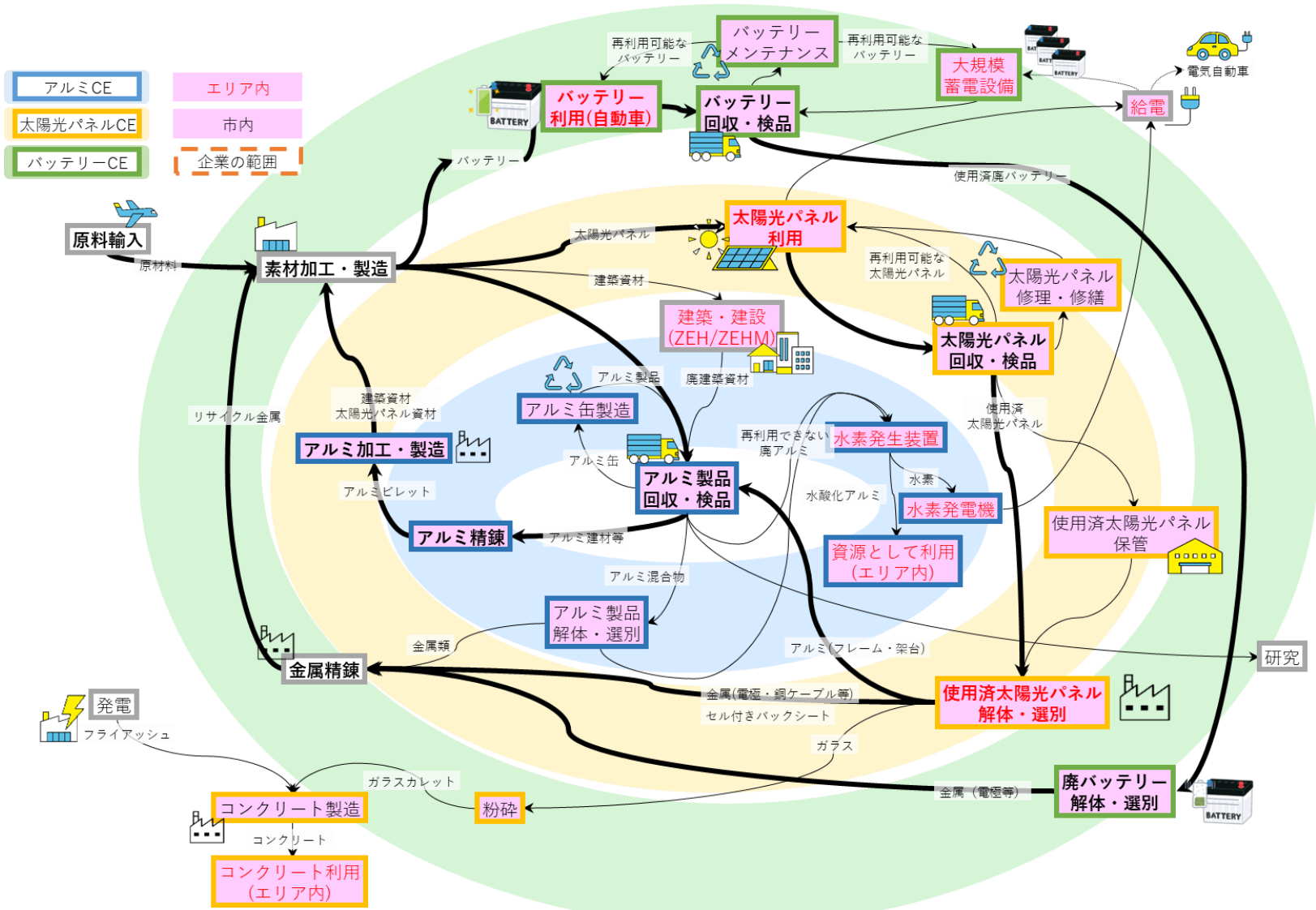
分類	取組	R7年度（2025）	R8年度（2026）	R9年度（2027）	R10年度（2028）	R11年度（2029）	R12年度（2030）
太陽光発電設備・蓄電設備（空き店舗等）	オンサイト	民間住宅・飲食店への太陽光発電設備等の設置					
		オフィスビル屋根等への太陽光発電設備の設置					
		協議	商業施設や宿泊施設への太陽光発電設備等の設置				
	オフサイト	調査					
		対応実施					
蓄電設備（産業用）	蓄電池	設置可能性の検討 → 対応実施					
EV普及	EVカーシェアリング	実証事業	EVカーシェアリング事業				
	EVタクシー	導入検討	EVタクシー導入				
	EV導入	導入検討→導入					
	EV充電スタンド	設置					
地中熱利用	地中熱ヒートポンプ・地中熱利用	設置可能性検討		設備設置→稼働開始			
水素等利活用設備	水素発生装置＋水素火力発電他	検討・協議		設備設置→稼働開始			
省エネ改修・ZEB化支援	複合施設・民間宿泊施設のZEB改修	調査	対応実施				
資源循環	資源循環システムの構築・資源リサイクル	太陽光パネルの回収・一部リユース→マテリアルリサイクル→再生建材に活用等					
	伝統産業	資源循環の取組推進					
普及・啓発	環境啓発拠点整備	検討	開館に向けた準備・運営　等				

地域内の民生部門・電力のカーボンニュートラル達成

太陽光発電設備以外のマッチング希望分野

- アルミ等の資源循環…本市共同提案者のリサイクラーとの連携による資源循環の推進
- 環境啓発拠点整備…整備に向けた運営手法等の教示
- ＥＶカーシェアリング事業…再エネ交付金を活用した形での事業展開

（参考）高岡市の目指すサーキュラーエコノミー模式図



（参考）環境啓発拠点　整備・運営イメージ

- 企業活動ＰＲブースの設置工夫や脱炭素に寄与する商品・サービスの提供等に加え、定期的にイベント（直接的または間接的に環境にやさしいイベント）を開催し、リピートを生む運営体制を目指す
- 整備運営にあたっては、高岡市カーボンニュートラル推進協議会メンバーの積極的な参加協力を期待
- 中心市街地エリアでの脱炭素の取組とも連携し、中心市街地の「脱炭素ショールーム」化を推進

気候変動など地球を取り巻く環境の状況を理解する

説明パネル

環境を理解するワークショップ

企業の事業活動や脱炭素の取り組みを知る

企業ブース

循環資源活用製品・商品の展示・販売

来場者の興味を引きつけ、本施設の概要を紹介する

地球儀型ディスプレイ

受付

主に子どもたちを対象に「行動がエコになる」ことを体験する

発電自転車

モルック

【お問い合わせ先】　高岡市 生活環境文化部　脱炭素推進課

Tel：0766-20-1663

E-mail：datsutanso@city.takaoka.lg.jp